

広報 にしあわくら

06

757 水無月
..... 2026

誰でも気軽にトレーニングできる場所が生まれたそうなの！



誰でも使える！

健康ステーション！

村の新しい運動施設を見てみよう！



はじめに

このたび、『健康ステーション』を設立いたしました。心身を整え、身体を引き締める時間と場を提供し、健康な毎日の実現をお手伝いします。短時間で実践できる運動プログラムの提供や、将来的には診療所との連携によるサポート体制を整備し、忙しい毎日でも健康づくりを習慣化できる環境づくりを目指します。

利用方法・ルールについて

【場所】
いきいきふれあいセンター
【時間】
8時30分～21時
【利用料金】
月額3000円
【申し込み方法】
役場保健福祉課窓口にて必要書類に記入し、出納室にて利用料金を納付してください。

6月以降も随時体験会を実施していますのでみなさまのご参加お待ちしております。



導入の設備について



トレッドミル (ランニングマシン)



体組成計



チェストプレス



リカレントバイク (背もたれ付き自転車)



アブドミナル/バックエクステンション



ラットプルダウン (ロングプル)



ダンベル (1~20kg)



レッグエクステンション

高齢者向け
おすすめの活用法

① 痛みのない程度に下半身や上半身の筋トレがおすすめです。

② 無理のない程度にアップライドバイクなどを活用し有酸素運動を取り入れることで若返りにも効果的です。

※65歳以上の方は事前に体験会に参加して利用いただけます。

雨が多くなり、屋外での運動が少なくなりやすいこの季節に、天気を気にせず利用できる健康ステーションをぜひご利用ください！



レッグプレス



アップライトバイク（自転車こぎ）



マッサージチェア



ショルダープレス



**村民グラウンド西側に、
 新しい運動施設が
 誕生しました！**

バスケットコートをはじめ、多目的に利用できる設備が整っており、ナイター設備も完備しているため、夜間でも快適に利用できます。また、このコートはバスケットボールだけでなく、ピククルボールにも対応しています。外での運動を楽しみたい方にぴったりの施設です。ぜひご利用ください！

オススメの活用法について

働き世代向け
おすすめの活用法

仕事終わりや休日を有効活用し、週2回程度の運動がオススメです！

① 筋トレ前後にランニングマシンやバイクで体を動かすと、運動効果がよりアップします。

② 各部位を1日あたり「10回×3セット」を継続することで、着実に成果が得られます





図書館からのお知らせ



文部科学大臣表彰を受賞

あわくら図書館が、令和8年度「子供の読書活動優良実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞しました。

4月23日(木)に開催された「子どもの読書活動推進フォーラム」にて表彰式が行われ、本村の読書推進への取り組みが高く評価されました。この受賞は、日頃から図書館を支えてくださる村民のみなさまのおかげです。今後も子どもたちが本を通じて豊かな感性を育めるよう、より良い読書環境づくりに努めてまいります。

「夜と、図書館」はじめます

毎月5日は図書館の閉館時間を20時まで延長開館します。夜活やイベント、ボードゲームも楽しめます。もちろん本の貸出もしますので、ぜひお立ち寄りください。

※土日祝日の場合、翌平日にします
翌月の「夜と、図書館」の日程を下記ご利用案内に記載していますのでご確認ください。

ご利用案内

6月 図書館のおやすみ

29日(月)・図書館整理日

7月 夜と、図書館の日

6日(月)～20時まで

図書館の休館日：祝祭日、毎月最終月曜、年末年始

あわくら会館 開館時間 8:30～22:00

あわくら図書館 開館時間 10:00～18:00

あわくら会館のイベントの詳細は別紙チラシをご覧ください。

図書館の新刊案内

『キャラクターストレングス』

ライアン・ニーミック／著 春秋社



人それぞれが持つ「強み」に注目し、それを活かしてよりよく生きるヒントを紹介する一冊です。自分の良さに気づき、日常や人間関係に活かすための考え方を学ぶことができます。

● 一般書

『松下幸之助直伝 道をひらく経営』

江口克彦／著 方丈社



松下幸之助の教えを受け継いだ著者が、仕事や経営に向き合う姿勢を伝えます。人としてのあり方や判断の軸など、時代を超えて大切にしたい考え方に触れられる内容です。

● 一般書

『六月の満月』

一雫ライオン／著 流星舎



それぞれの想いを抱えた人々が、満月の夜をきっかけに交差していく物語。静かな余韻の中で人とのつながりや心の揺れが丁寧に描かれ、感涙のラストまで一気に読み進めたい作品です。

● 一般書

『きゅうきゅうばこの絵本』

WILLこども知育研究所／編・著 金の星社



けがや体調不良のときに役立つ応急手当を、イラストでわかりやすく紹介。身近な場面を通して正しい対処法を楽しく学べます。いざというときに役立つ知識が身につく、親子で読みたい内容です。

● 児童書

お問い合わせ先 あわくら会館・図書館 TEL 0868-79-2116 教育委員会事務局 TEL0868-79-2216



▲4/25(土)「草木でつくる古典インク」イベントの様子

あつまる、つながる、やってみる、あわくら会館



あわくら会館で「生きるを楽しむ」様子を紹介

主催行事

あなたの手帳時間

「何をどう書く?」

4月18日(土)、「あなたの手帳時間」何をどう書く?」ワークショップを開催しました。講師には3月の講演会に続き、書道家の清水美早さんをお招きしました。書くことで「やるべきこと」と「やりたいこと」を整理し、理想の未来から今の行動を考える大切さを学びました。また、筆跡心理学をもとに一人ひとりの文字を見ていただき、自分の考え方や行動の癖に気づく機会となりました。参加者からは「納得できる内容ばかりだった」との声もあり、充実した時間となりました。



村民講師行事

「草木でつくる古典インク」

4月25日(土)、「草木でつくる古典インク」ワークショップを開催しました。講師の福井啓太さん(別府)より古典インク作りを体験しました。好きな色を楽しむ人や、色の変化を観察する人、和紙でにじみを試す人など、それぞれが自由な楽しみ方で取り組まれていました。「自分でも草木を摘んで作ってみたい」という声もあり、ものづくりの楽しさや発見を感じながら、自然の素材に触れる心豊かな時間となりました。



▲note



▲Instagram イベント情報



▲Facebook



幼稚園

「芝桜公園にいきました。」

4月28日(火)に大茅にある芝桜公園に行きました。天候にも恵まれ、気持ちの良い時間を過ごしました。

3歳児(うさぎ組)はバスに乗ることがうれしくてたまらない様子でした。4歳児(くま組)は、芝桜はもちろんのこと、飛んでいるミツバチやチョウチヨを見つけて楽しんでいました。

5歳児(ぞう組)になると、「薄紫の花がきれい。」「ピンクかわいい。」「いい匂いがする。」「売店のおにぎりおいしそう。」と五感を働かせながらたくさん発見をしたようです。



保育園

『ひとつ大きくなりました』

4月2日(木)に保育園の「入園・進級式」がありました。いつもと少し違う洋服を着て、少し緊張の面持ちで登園してきた子どもたち。ひとつ大きなクラスになったことを、みんなでお祝いしました。「一年に一度、保育園のみんなで集まるのもいいものだね」とご家族のみなさんも話されていました。これから、少しずつお友だちが増えていくのが楽しみです！



小学校

自然いっぱい！
ふるさと元気ウオーキング

5月8日(金)に行われたふるさと元気ウオーキングでは、原生林を訪れ、縦割り班で山を登りながら6年生が考えたビンゴゲームに挑戦しました。木に直接触れて手触りを楽しんだり、冷たい水に手をつけたり、キノコを見つけたりと、自然とふれ合いながら楽しく学ぶ姿が見られました。上級生と下級生が協力し合い、ふるさとの自然のよさをたくさん発見することができました。



中学校

令和8年度 生徒会目標

西粟倉中学校では、生徒会本部で話し合って今年度のスローガンを中心に次のように決めました。
「できる」を増やす西粟倉中
くやるべきことをしっかりやる・失敗を恐れず挑戦する・友達と協力して高めあう
これからも生徒が主体となつてさまざまな活動に取り組んでいきます。

西中前期スローガン

「できる」を増やす西粟倉中
～やるべきことをしっかりやる・失敗を恐れずに挑戦する・友達と協力して高め合う～



献血にご協力ください 移動献血車が来ます

献血は、直接人の命を救う、とても大切なボランティア活動です。手術やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うため、献血にご協力ください。西粟倉村での献血は年1回となりますので、ぜひこの機会にご協力をよろしくお願いたします。

受付とさせていただきます。ご了承ください。

【日時】
7月3日(金)
9時45分～
10時45分(受付)

【場所】
西粟倉村役場

献血にあたってのおことわりとお願い

200mlの献血製剤は今まで多くのみなさま方にご協力いただいた献血で十分な状態になっています。一方、大量の輸血を必要とする手術に必要な400mlの献血製剤が不足しております。今回は400ml全血献血のみ(体重50kg以上の方のみ可)の

【保健福祉課】

がん検診の助成を 実施しています！

医療機関で「乳がん検診」「子宮頸がん検診」「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」「肝炎ウイルス検診」を受けられた方の検診費用一部助成を行っています。

検診受診時に検診費用の全額を医療機関に支払い、その後申請を行ってください。

【申請窓口】保健福祉課

【助成金額】下記の助成額を上限とした窓口負担額

※クーポン対象の方は検診費用の全額を助成します。

※保険診療で検診相当の検査を受けられた場合は対象ではありません。

【申請書類】がん検診費用給付申請書(様式第1号)、検診領収証、検診結果

申請書は役場保健福祉課の窓口にあります。
詳しくは、保健福祉課へお問い合わせください

がん検診種類	実施内容	対象年齢	助成額(上限)
乳がん検診	超音波検査	30～39歳	2,700円
	マンモグラフィ	40～49歳(2方向)	4,950円
		50歳以上(1方向)	3,200円
子宮頸がん検診	細胞診	20歳以上	3,200円
胃がん検診	胃部レントゲン撮影	30歳以上	4,000円
大腸がん検診	便潜血反応	30歳以上	1,400円
肺がん検診	胸部レントゲン撮影	30歳以上	2,200円
C・B型肝炎ウイルス検診	血液検査	40歳以上で過去に受けたことがない者	2,200円

【保健福祉課】

西粟倉村「切れ目ない相談事業」 スタートのおしらせ

令和8年度より、西粟倉村ではこども家庭センターを設置します。その事業の1つとして、「切れ目ない相談事業」をスタートします。妊娠・出産・子育て・思春期相談・家族相談などいつでも助産師さんに相談が可能です。相談方法は、面談・訪問・LINEです。詳しくは、西粟倉村ホームページQRコードを読みとり、ご確認をお願いします。

また、事業の開始に合わせて、「妊娠届」の提出時、「新生児訪問」の際にも、助産師さんと面談をおこないます。

そのため、「妊娠届」を提出される際には、必ず事前に保健福祉課までお電話をください。



【保健福祉課】

地域社会のウェルビーイングに 関する連携協定を締結しました！

4月に、公益財団法人社会変革推進財団および一般社団法人スマートシティ・インスティテュートと連携協定を締結しました。

【地域社会ウェルビーイングとは？】

ウェルビーイングとは幸福度を意味する言葉で、村においても「生きるを楽しむ」ウェルビーイングとして施策を進めています。そして、地域社会ウェルビーイングとは、地域のつながりなども踏まえて地域全体のウェルビーイングを目に見える形にしているものです。

【主な連携内容】

・地域社会ウェルビーイング調査の実施
(毎年度実施している生きるを楽しむアンケートの内容が変わります)

- ・ 調査結果の分析
- ・ 分析結果を村の施策へ反映
- ・ 村内外への情報発信

【連携団体の主な役割】

・ 公益財団法人社会変革推進財団(SIIF)

社会的意義のある取り組みへの投資やさまざまな地域の活性化に取り組んでおられる実績を活かして、調査結果を活かした施策推進、村内外への情報発信を担って頂きます。

・ 一般社団法人スマートシティ・インスティテュート(SCI-JAPAN)

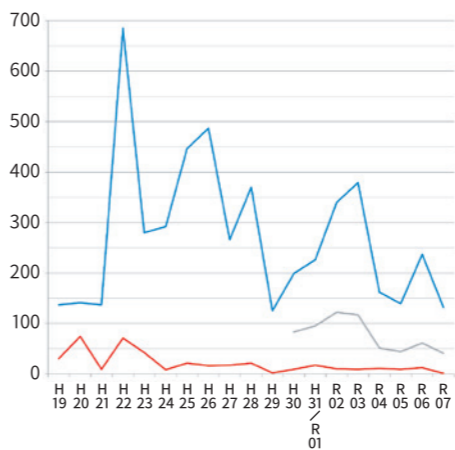
国や多くの自治体におけるウェルビーイング調査の設計・結果分析・施策提言の実績を活かして、調査の設計・分析、村の施策検討に関わって頂きます。

【総務企画課】

令和7年度のシカ・イノシシ捕獲数について

西粟倉村では、シカやイノシシなどによる農林産物への被害が続いており、この状況を改善するための取り組みが進められています。

村では、農林業の安定的な環境を守るため、西粟倉村猟友会と連携し、有害鳥獣の捕獲活動を実施中です。猟友会は村から駆除許可を受け、年間を通じて積極的に活動を行っています。この活動は、農作物や森林資源を守るだけでなく、地域経済への悪影響を抑える上でも大きな役割を果たしています。住民のみなさまには、こうした狩猟活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。今後も村と猟友会が力を合わせ、被害の抑制に努めることで、地域の環境保全や安定した農林業の発展を目指してまいります。



R7	計
イノシシ	1
ニホンジカ	132
ジビエ	41

【産業観光課】

6月は土砂災害防止月間です。

毎年、6月1日から6月30日までの期間を「土砂災害防止月間」として、国や県、市町村が定め、土砂災害に関する啓発活動を行っています。この期間を迎えると、出水期（6月から10月頃）に入り、梅雨や台風の影響で土砂災害の発生リスクが高まります。土砂災害から身を守るためには、日頃の備えを整え、早めの避難を心がけることが非常に重要です。また、村の防災ガイドには、土砂災害が発生しやすい場所が掲載されていますので、事前確認をお願いします。



▲村の防災ガイドはこちらをチェック

【総務企画課】

木下大サーカス 岡山公演

令和8年6月27日(土)から9月27日(日)の93日間(実公演74日)、岡山ドーム東隣特設会場(岡山市北区北長瀬)にて「世界最大級の大スペクタクル☆スーパーミラクルイリュージョン」木下大サーカス岡山公演が開催されます。迫力満点のショーをぜひお楽しみください。この機会にぜひ、足をお運びいただき非日常の感動を体験してください。



【総務企画課】

小児科のお知らせ

現在、一部の診察において、長時間お待たせすることがあり、ご迷惑をおかけしています。

特に小児科では、受診理由によって診察や検査などに時間がかかり、長くお待たせする場合があります。

・発達についての相談(発達障害など)
・診察やエピソードの聴取など
・発育についての相談(低身長など)
・身体計測、採血、手のレントゲン撮影など

右記についてご相談希望の保護者さまは、事前に西粟倉村診療所にご連絡をお願いいたします。受診日と受診時間の調整をさせていただきます。当日の依頼の場合、診察の混み具合によっては、対応が難しいことがありますので、ご予約されることをおすすめします。

※すでに通院中の患者さまは今まで通りの受診方法で診察を行います。

できる限りスムーズな診察を行えるよう、引き続き努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】
西粟倉村診療所
(平日8時30分から17時まで)



【西粟倉村診療所】

おしえて年金

国民年金保険料免除等の申請について

保険料が納め忘れの状態、万一、障害や死亡といった不慮の事態が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、住民登録をしている市(区)役所・町村役場の国民年金窓口で手続きをしてください。申請書は、窓口へ備えてあります。

令和8年度分(令和8年7月分から令和9年6月分まで)の免除等の受付は令和8年7月1日(水)から開始されます。

また、申請時点の2年1カ月前の月分まで遡って申請することができます。

失業等により保険料を納付することが経済的に困難になったものの、申請を忘れていた期間がある方は、役場の国民年金窓口(保健福祉課)または年金事務所へご相談ください。

★詳しくは、津山年金事務所(電話0868-31-2360)までお問い合わせください。

【保健福祉課】

あわくらたんけんクラブ

たけのこハンティング

4月26日(日)、「たけのこハンティング」を実施しました。当日は村内の児童16名、保護者や家族4名に加え、地域の大人12名が参加。世代を超えた総勢32名が、村内の豊かな竹林へと繰り出しました。

タケノコ掘りのプロ・総大将が、クワの使い方を伝授。児童たちは、土の感触や香り、掘り出した瞬間の手応えに目を輝かせていました。ハンティングの結果は、持ち帰れるほどの大収穫でした。



お問い合わせ あわくら会館 (0868-79-2116)

むらまるごと通信 vol.55

多面的機能支払交付金事業の事務局を担当します

今年度から、村内の14組織で構成されている多面的機能支払交付金事業の事務局を担当することになりました。多面的機能支払交付金事業は、農産物の生産だけでなく、国土保全や景観形成、自然環境の保全など、農業・農村が持つ多面的な機能を維持するための制度です。

むらまる研は、令和3年度の研究所立ち上げ時から、農家の草刈り負担の軽減に向けて企業と連携した実証事業やリモコン式草刈機

の導入を進めてきました。今年度からは、草刈りロボットを用いた草刈りサービスの提供を開始しています。また、4月号に掲載されていますが、地域の空き家対策をより積極的に進める窓口の「空家等管理活用支援法人」にも指定され、活動も開始しています。

地域の暮らしに関わる、住まいや農業に関わる機能をむらまる研として担っていきたいと思っています。ですので、お気軽にご相談ください。



連絡先 090-4109-6500

あわくら大学4月講座

新たな学びとデジタルの輪

4月17日(金)、あわくら会館にて「入学式・始業式」が行われ、あわくら大学生40名が出席しました。

今年度は新たに1名の新入生を迎え、村長や来賓の方々からの激励を受け、新年度の学業計画に期待を膨らませました。

第2部では、人生100年時代をより楽しむためのデジタル講座を実施しました。村内のイベント情報が集まるLINEオープンチャット「あわくら掲示板」の活用方法を学

びました。自ら情報を得て、外出や交流のきっかけを作ることで、心を豊かにする生活の輪を作ることが目的です。併せて西粟倉村の公式LINEの登録も行い、スマートフォンで情報とつながる一歩を踏み出しました。

今年度も、学生のみなさんの興味関心や交流、課題をテーマに、学びの輪を広げる講座を開催します。



あわくら会館・図書館 副館長白岩将伍

特色ある教育通信

あわくらみらいアカデミー「とことこ道草クッキング」

自然界で生き抜く力を育むことを目的に、野草を調理するイベント「とことこ道草クッキング」を開催しました。

昨年度、食べられる野草について学校の授業で学んだ5年生有志が「先生」として参加しました。

事前準備では、野草が採れる場所を実際に調査し、採取した野草の天ぷらを作り「意外とおいしい!」と味を確かめることができました。本番では、昨年度児童が作成し

た「植物図鑑」を活用しながらおすすめの草を紹介し、フィールドでは「これは食べられるよ!」と参加者に教える姿が見られました。

植物を見る視点が変わり、普段口にするこのない世界にみんなが触れることができました。

また、5年生にとっては学校で学んだ知識を発信することで、学びをさらに深める貴重な機会となりました。



教育コーディネーター 今井 晴菜

社協だより

地域支えあい事業からのお知らせ

「閉じこもり防止」や「ふれあいの場づくり」などの事業を行っています。令和8年度の参加者を募集中！一緒に楽しく活動しませんか？

【はなの会】

主としてひとり暮らしの方を対象に毎月1回、集まって楽しく活動しています！

開催日：毎月第1水曜日 よりみちで活動



第33回県境市町村親睦交流GB大会

令和8年4月21日(火)西粟倉村老人クラブ連合会主催の県境市町村親睦交流GB大会が開催されました。白熱した試合が繰り広げられました。

結果

優勝 津山 チーム
準優勝 佐用 チーム
第3位 西粟倉A チーム



2026夏のボランティア体験事業のお知らせ

学生や社会人の方が夏休み期間中を利用して村内の福祉施設(子ども・高齢者・障がい者)でボランティア活動を体験することができるプログラムです。

初めてでも大丈夫。君もこの夏チャレンジしてみよう！

申込期間 6月8日(月)～6月19日(金)
実施期間 7月21日(火)～8月21日(金)
詳しくは、社協までご連絡を



赤十字活動資金のご協力ありがとうございました

日本赤十字活動資金にご協力頂きありがとうございました。ご協力頂きました活動資金はさまざまな赤十字活動事業に使われます。

また、納入に関しましては地区民生・児童委員のみならずには大変お世話になりました。書面をお借りしてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



「であい茶屋」

いきいき笑顔で元気いっぱい活動中！

令和元年より、住民ボランティアによる高齢者が参加できる通いの場「であい茶屋」がスタートして8年目を迎えています。

現在、毎週水曜日に楽しく活動しています。この会の部屋からはいつも楽しい笑い声が聞こえてきます。

人とつながることができて、みなさんますます元気になっています！なかなか外に出ることができにくい方でも、ボランティアの送迎付きの通いの場なので安心して参加できます。



要支援者など自立参加困難な高齢者の方も対象になります。気になる方は下記までお問合せください。

お問い合わせ・申し込み先
保健福祉課 ☎ 79-2233まで

俳句

西粟倉中学校校庭 令和八年四月十八日

選者特別吟

なつかしき学びの窓に風光る
半世紀越ゆる母校に夏の風
幅跳びの砂やはらかき春の暮
校庭に転がるタイヤ春惜む
虎杖の旨し不味しといふ家族

小坂康子
小椋仁美
乾 沙織
春名知子
宮本竜治

風の色染めて大茅芝ざくら
六色の彩のかげろふ芝桜に山の土産の芝ざくら

○毎月第三土曜日の午後一時三〇分からあわくら会館で活動しています。丁寧に指導しますので、初心者の方もぜひご参加ください。

川柳

栗の実川柳社 令和八年五月句会から

こいのぼり 対岸の真鯉に緋鯉風にのり
高く舞い強くなれよと指を示す
田の水が映して囁す芝桜
山々が緑輝く日本晴れ

建元 照子
清水 早苗
井上 吉男
春名佳世子

日本晴れ風も爽やか頬を撫で
一つ三つ苺の赤きよき日和
テント積みペダルを踏んだ若き時
物価高大根一本見比べて

竹内 茂子
新海 孝代
春名佳世子
建元 照子

自由吟 新緑で風爽やかに空は澄み
水田に蛙の鳴き声勇ましく
立ったまま履く靴嬉し八十路足
田植え終え一層美味しい柏餅
濃淡のみどり重ねて初夏の山
天気予報夏日と言えど肌寒い
桜散り山は新緑野は田植

井上 吉男
熊見万智子
新海 孝代
熊見万智子
竹内 茂子

人の動き

令和8年5月1日現在の動き

人口	1,268人(1)
男	604人(1)
女	664人(0)
世帯数	594戸(4)

4月中の移動

出生	1人
死亡	1人
転入	9人
転出	8人

7月の予定

7月5日(日) 道路愛護デー



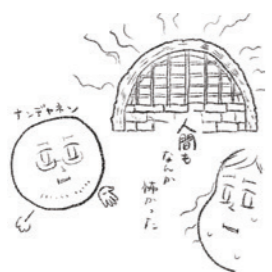
広報についてのご意見・感想は掲示板、総務企画課までお問い合わせください。

◀ 村民掲示板ページQRコード

【旧志戸坂トンネルと冷徹な上司】

旧志戸坂トンネルには本物が潜んでいる。これは村では有名な話である。友人の親戚いわく、バイクで通りかかった際に歩いてた女性を乗せてあげたところ、トンネルを出る頃には姿を消し、なぜか同時に積んでいた魚が消えていたという。また、近くまで車で行ったら帰りに車体に血がついていた、なんて噂もある。先日、仕事で現地へ赴く機会があった。めちゃくちゃ怖い。佇まいからしてただ者ではなく、近づいた瞬間に空気が突然凍りつく霊界との境界線のようなものを肌を感じた。命からがら帰還し、上司に報告すると「あそこは谷だからね(地形の問題)」と一蹴された。興ざめである。さらに同行者から、現地で撮影したという、この世のモノとは思えないおぞましい写真が送られてきた。震えながら上司に見せると、「それネットの拾い画じゃない？」と言われた。大いに興ざめである。翌朝、目覚めると頸から首にかけて謎の蕁麻疹が広がっていた。「さすがにこれは呪いだ！」と直訴した私に、上司は「寒暖差による自律神経の乱れだね」と言い放った。霊的な意味でも、上司の冷徹さという意味でも、あの凍えるトンネルには二度と近づきたくない。

あわくら百景



村民紹介リレー

「生きるを楽しむ」
西粟倉村の人々を
友達紹介リレーで
インタビュー！



pick up!

小松 和正さん

Komatsu Kazumasa

年齢.. 50

所属.. 小松組

今月のテーマ

「自然とスポーツを思い切り楽しんでほしい」

小松和正さんは西粟倉村で生まれ育ち、高校を卒業してから、19歳になる年に小松組で働き始めました。今は建設の現場で、施工管理や品質管理をする仕事をしています。雨や雪で思うように進まない大変さもありますが、現場がきれいに完成した時には「やってよかった」と感じるそうです。仕事のほかに、長く続けてきたバレーを生かして、小学生や中学生にも教えています。小さい子にはまず体を動かす楽しさを、高学年にはバレーの面白さを伝えながら、子どもたちの成長を見守っています。西粟倉の好きなところは、自然が豊かで姫路や鳥取、大阪にも出かけやすいアクセスがいいところで、また、昔のようにみんなは気軽に集まって、楽しく話せる場所があれば、村の暮らしはもっと楽しくなると思います。

子どものころは川で泳いだり、魚を見つたりして遊んでいたそうです。今もスノーボードを続ける小松さんは、子どもたちにも、自然の中で思いきり遊び、いろいろなスポーツを楽しんでほしいと話しています。



西粟倉村役場
電話番号

総務企画課 0868-79-2111
出納室 0868-79-2113
保健福祉課 0868-79-2233
産業観光課 0868-79-2230

建設課 0868-79-2231
教育委員会 0868-79-2216
診療所 0868-79-2220
FAX 0868-79-2125

各記事の内容についてのご意見・ご質問は、各課までお問合せください。

広報
令和8年6月号
No. 757

発行 〒707-0503 岡山県英田郡西粟倉村影石33-1
西粟倉村役場 総務企画課
TEL 0868-79-2111 FAX 0868-79-2125

